

「(仮称)第三次川越市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」(原案)に対する意見募集の結果

結果の概要

(1)実施期間 平成29年11月13日(月)から12月12日(火)までの30日間

(2)意見提出件数 2名(6件)

(3)項目別の意見数

該当する箇所	該当する項目	意見数
計画全体への意見	計画全体	6
合 計		6

(4)意見一覧

意見 No.	項目	意見の概要	市の考え方
1	計画全体への意見	川越市内にある街路樹は季節ごとに業者委託によって剪定されている。しかし、近年目立つようになったのは、必要以上に枝を切り落とし、翌年以降、葉が生えない状態にしている業者がいることである。これは植物の成長に伴う二酸化炭素の吸収を阻害しており緑化事業を妨害していると言わざるを得ない。川越市内にはそのような街路樹が数多く見受けられる。 よって対策計画の中に「すでに葉の生えない状態と化した木の植え替え」と「緑化を考慮せず切り落とすだけの名ばかり造園業者の排除」を盛り込むべきである。	街路樹の剪定につきましては、道路の安全利用や沿線住民等の要望を考慮しながら、街路樹としての機能を損なわないよう維持管理に努めてまいりたいと考えます。
2	計画全体への意見	温暖化の現状をヴィジュアルで適切にまとめられて分かりやすくなっている。	地球温暖化問題を他人事ではなく、自らの問題として考えていただけるよう、できる限り市民に分かりやすい内容としていくよう努めてまいりたいと考えます。
3	計画全体への意見	地域の現状として、エネルギーの自給率や地域での潜在的エネルギーを明らかにしてもらえると自覚できると思う。	本市は全国平均と比べて日照時間が長く、太陽エネルギーの活用に適していると考えています。太陽エネルギーの活用など再生可能エネルギーの普及促進につきましては、施策「1 再生可能エネルギーの導入」を推進していく中で、着実に進めてまいりたいと考えます。
4	計画全体への意見	市内で使用するエネルギーの電源構成を示して節約や省エネの目標ができる市民としては取組やすいのですが、明らかにして欲しい。	節約や省エネにつきましては、「6-3 市民の取組」において二酸化炭素削減量や節約額掲げております。意識啓発につきましては、施策「2 市民・事業者の活動促進」を推進していく中で、着実に進めてまいりたいと考えます。
5	計画全体への意見	努力は認められますが、もっと市民の分かりやすい要約版があると良い。	温室効果ガス削減に向けた取組や各主体の努力や成果が見えるように工夫してまいりたいと考えます。
6	計画全体への意見	二酸化炭素排出係数が固定化されているのは現状を反映していないと思う。	エネルギー起源の二酸化炭素排出量は、主に「エネルギー使用量」に「二酸化炭素排出係数」を乗じて算定しています。排出係数を固定することで、「エネルギー使用量」の比較が可能となり、各主体の取組の成果の見える化に資すると考えます。